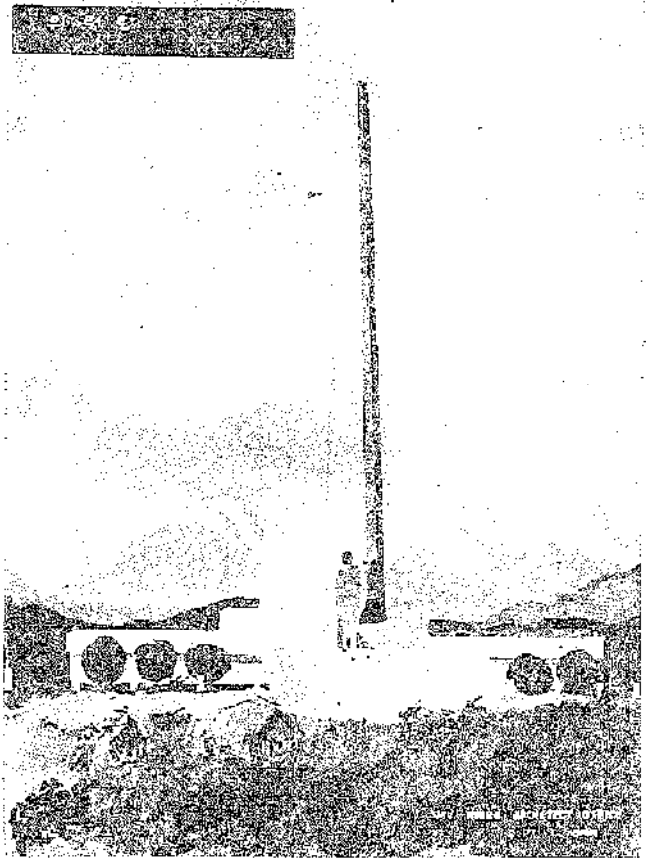


協賛団体（順不同）

- | | | |
|----------------|----------------|-------------|
| 財団法人 日本遺族会 | 財団法人 日韓文化協会 | 社団法人 日韓親和会 |
| 社団法人 中央日韓協会 | 日韓経済協会 | 社団法人 日本郷友連盟 |
| 財団法人 日本傷痍軍人会 | 日本慈行会 | 宗教法人 国柱会 |
| 国之礎本部 | 国際仏教興隆協会 | 財団法人 全日本仏教会 |
| 社団法人 全日本仏教婦人連盟 | 戦没者遺骨収集促進団体協議会 | |
| 財団法人 西細亜友之会 | 新日本協議会 | 財団法人 全国訪友会 |
| 宗教法人 立正佼成会 | 軍慰連盟 | 財団法人 偕行社 |
| 財団法人 水交社 | 株式会社 仏教タイムス社 | 株式会社 中外日報社 |

祖国を愛した英霊に捧げる誠と祈りの心を

太平洋戦争戦没韓国人将兵の御霊にも捧げよう



太平洋戦争戦没韓国人慰霊事業協賛会

東京都杉並区高井戸東三ノ二ノ二三 日韓文化協会内

電話 東京(〇三三)二〇四・三三三三番

あの太平洋戦争において、軍人軍属として動員され戦没された韓国人将兵は、その数実に二一、九一九柱に及んでおりますが、これら将兵は当時日本軍人として勇躍死地に赴かれた人々であります。

その死はたとえ栄光の死でなかったとしても、人間至高の奉仕の精神のもと、尊い生命を捧げた戦没者であることに変わりはなく、深い感謝と崇敬の誠を捧げなければなりません。特にこの人達が韓国の出身者であることを思うとき、その慰霊と祭祀について特別の配慮が加えられるべきであったとの感を深くするものであります。

しかるに戦後複雑な事情により、西半世紀余の歳月を経た今日、なお父祖の地韓国に奉還されないまま、二、三二九柱の英霊がわが国に安置されたままでありました。

昭和四十六年十一月、そのうち二四六柱の遺骨が、韓国遺族会並びに当時の韓国出身学徒兵の集まりである一・二〇同志会関係者の切なる要望と努力により、祖国奉還が実現され、その他の遺骨もまた、日韓両国政府の外交交渉と民間の協力により、近く奉還を完了する見通しとなりました。

日本と韓国は一衣帯水、未来永劫に一つの運命に結ばれて居ります。古来ややもすれば、わが国はかの国より奪うことのみ多く、報ゆるに少なかつたことを深く反省すべきであると思えます。日韓国交正常化以来、両国の関係は政治、経済、文化の各方面に、日を逐うて親密の度を増しつつあることは誠に喜ばしいことであります。しかし真の善隣友好の樹立は、これら英霊に対する配慮なくしては望むべくもなく、最も大切なことは道義に結ばれたお互い民族の心のふれあいなのであります。

私どもはこのたびの遺骨奉還の機会こそが、わが国民の良心と誠心を披瀝し、これら戦没将兵に対する感謝と崇敬の誠をいたし、日韓両民族の心の絆を強め、真の善隣友好と世界の平和に寄与する絶好の機会であると考えてまいりました。

時たまたま、韓国遺族会並びに一・二〇同志会等により結成された「平和寺建立委員会」によって、これら戦没将兵の慰霊と世界平和祈願のため、日本に最も近い釜山に清浄の地を選び、慰霊塔、納骨堂、寺院（平和寺）等を建立する計画が進められ、わが方に協力を求めてまいりました。

私どもは、この事業に協力し、日韓両国民の力によって立派に完成することが友好親善の礎となることを深く信じてやみません。何卒、日本人の良心と誠心の灯が永久に友邦韓国の地にもさされるこの運動に、心ある皆様方の御協力を切望してやまない次第であります。

昭和四十七年九月

東京都杉並区高井戸東三丁目二一二二 日韓文化協会内

太平洋戦争戦没韓国人慰霊事業協賛会

会長 石井光次郎

電話 東京(〇三)三〇四一三三三番

太平洋戦争戦没韓国人慰霊事業要領

建立地—韓国釜山直轄市東萊区杜丘洞八三番地 金井山々麓
建碑

慰霊塔—碑面韓国産烏石 高さ地上二〇米 焚香台付

納骨堂—四層八面鉄筋コンクリート建 地上三階地下一階 延二〇坪

平和寺—法堂約七四坪 寶舎約三七坪 在来式木構造

除幕式—昭和四十八年十月の予定

予算—邦貨 約壹億参千萬円(内 韓国側六千五百萬円)

募金—金額の多少にかかわらず一人でも多くの浄財をお願いいたします。

納金要領—ご送金は本協賛会あて現金書留、郵便為替、振替送金(振替番号東京一

三六六四六番)又は東京相互銀行種ヶ谷支店「太平洋戦争戦没韓国人

慰霊事業協賛会」口座に振込み下さい。当座番号は一一七七番です。

協賛者の芳名—本事業の趣旨に賛同し、寄附金を納入下さいました方々を永久に記念
を永久に銘記

するため、建碑礎石内に芳名を銘記格納いたします。

除幕式に 除幕式には出来るだけ多数のご参加を願ひ、盛大に行事を行ない、日
間休参加 韓友好親善を図りたいと思ひます。

（きりとり懸）

太平洋戦争戦没 韓国人慰霊事業 寄附申込書

太平洋戦争戦没韓国人慰霊事業の趣旨に賛同し左記の通り
寄附を申込みます

金 円也

昭和 年 月 日

〒 住 所

氏 名

男・女

職 業

年令

太平洋戦争戦没韓国人慰霊事業協賛会 御中